

【執筆者等が選定された共通テキスト名一覧】（11月22日現在：20科目）

【導入教育・基礎獣医学】（10/13科目）

「科目名」	「編集者」	「進捗状況」
1) 獣医学概論	池本卯典(日獣大)	執筆者 6名
2) 獣医倫理・動物福祉学	池本卯典(日獣大)	執筆者 9名
3) 獣医事法規	池本卯典(日獣大)	執筆者 5名
4) 解剖学	九郎丸正道（東大）	執筆者12名（24年春刊行予定）
5) 組織学	小川和重（大阪府大）	執筆者10名（24年春刊行予定）
6) 発生学	尼崎 肇（日獣大）	執筆者 5名（24年春刊行予定）
7) 生理学	汾陽光盛（北里大）	依頼中
8) 生化学	田中 智（東京大）	依頼中
9) 薬理学	尾崎 博（東大）	編集者4名、執筆者20名
10) 動物遺伝育種学	今川和彦（東大）	編集者2名、執筆者 9名
11) 動物行動学	森 裕司（東大）	執筆者3名
12) 実験動物学	久和 茂（東大）	執筆者15名
13) 放射線生物学	稲波 修（北大）	依頼中

【病態獣医学】（4/7科目）

「科目名」	「編集者等」	「進捗状況」
1) 病理学	山口良二（宮崎大）	調整中
2) 免疫学	池田輝雄（麻布大）	執筆者21名
3) 微生物学	微生物学分科会	編集委員6名
4) 家禽疾病学	高瀬公三（鹿児島大）	調整中
5) 魚病学	児玉 洋（大阪府大）	編集・執筆者3名
6) 動物感染症学	微生物学分科会	編集委員6名
7) 寄生虫病学	野中成晃（宮崎大）	調整中

【応用獣医学】 (3/8科目)

「科目名」	「編集者等」	「進捗状況」
1) 動物衛生学	高井伸二 (北里大)	編集・執筆者8名
2) 公衆衛生学総論	三澤尚明 (宮崎大)	調整中
3) 食品衛生学	伊藤喜久治 (東大)	調整中
4) 環境衛生学	植田富貴子 (日獣大)	調整中
5) 毒性学	寺岡宏樹 (酪農大)	編集者6名、執筆者19名
6) 人獣共通感染症学	重茂克彦 (岩手大)	調整中
7) 疫学	林谷秀樹 (農工大)	23年末刊行予定
8) 野生動物学	坪田敏男 (北大)	調整中

【臨床獣医学】 (3/23科目)

「科目名」	「編集者等数」	「進捗状況」
1) 内科学総論	辻本 元 (東大)	依頼中
2) 臨床病理学	稲葉 睦 (北大)	依頼中
3) 臨床薬理学	下田 実 (農工大)	編集者5名
4) 呼吸循環器病学	北川 均 (岐阜大)	依頼中
5) 消化器病学	亘 敏広 (日大)	依頼中
6) 泌尿生殖器病学	星 史雄 (北里大)	依頼中
7) 内分泌代謝病学	左向敏紀 (日獣大)	依頼中
8) 臨床栄養学	左向敏紀 (日獣大)	依頼中
9) 神経病学	織間博光 (日獣大)	依頼中
10) 血液免疫病学	辻本 元 (東大)	依頼中
11) 皮膚病学	笹井和美 (大阪府大)	依頼中
12) 動物行動治療学	森 裕司 (東大)	執筆者3名
13) 外科学総論	中市統三 (山口大)	調整中
14) 手術学総論	奥村正裕 (北大)	調整中
15) 麻酔学	西村亮平 (東大)	調整中
16) 軟部組織外科学	佐々木伸雄 (東大)	調整中
17) 運動器病学	三角一浩 (鹿児島大)	調整中
18) 臨床腫瘍学	廉澤 剛 (酪農大)	依頼中
19) 眼科学	長谷川貴史 (大阪府大)	調整中
20) 画像診断学	宮原和郎 (帯畜大)	依頼中
21) 産業動物臨床学	小岩政照 (酪農大)	執筆者20名
22) 馬臨床学	樋口徹 (NOSAI日高)	依頼中
23) 臨床繁殖学	片桐成二 (酪農大)	調整中

－獣医学共通テキストの編集作業に関する進捗状況－

【動物育種遺伝学】（東大・今川和彦先生より）

- ・本メールの返答に関し、最少の情報をお送りいたします。

「獣医遺伝育種学」

編集委員：国枝哲夫（岡山大学）と今川和彦（東京大学）の2名

執筆者は編集委員を含め全9名（もっと多くなる可能性はあります）

出版社は「朝倉書店」220～250ページを予定（確定しておりません）

【実験動物学】（東大・久和 茂先生より）

- ・「実験動物学」の共通テキストの取りまとめをしております東大の久和です。

実験動物学の出版は朝倉書店さんをお願いするつもりですので、ご報告いたします。

現在の頁配分案を添付いたします。ただし、この配分案には章末の演習問題が含まれておりません。実際はこの案よりも20数ページ増える予定です。出版は来秋くらいを目途にしています。

【獣医病理学】（東大・中山先生より）

- ・従来の「獣医病理学」（フルテキスト）に共通テキストの要素を加味する体裁として改訂作業を進める予定です。

【免疫学】（麻布大・池田輝雄先生より）

- ・ご依頼のございました「共通テキスト執筆者一覧」および「編集作業進行日程」について松本先生とご相談の上作製いたしました原案を添付いたします。共通テキスト執筆者については、執筆の依頼等はしておりませんので、いずれの先生につきましてもまだご了解を得ておりません。この先にことについて具体的なお指示をいただければ幸いです。

【微生物学】（微生物学分科会事務局・鈴木孝子氏より）

- ・微生物学分科会の事務局をしている鈴木と申します。遅くなりましたが、先日分科会長宛てにお問い合わせのあった内容について以下の通り回答いたします。
- ・テキストの名称：「獣医微生物学 モデル・コアカリキュラム 準拠教科書」
「獣医感染症学 モデル・コアカリキュラム 準拠教科書」
編集代表者名（微生物学）：「微生物学分科会」
編集代表者名（感染症学）：「微生物学分科会」

編集委員（両方とも）：福士先生、芳賀先生、前田先生、村瀬先生、杉山先生、末吉先生

出版社名（微生物学）：「文永堂」を想定（未調整）

出版社名（感染症学）：「近代出版」を想定（未調整）

ページ数（両方とも）：未定

電子図書化（両方とも）：著作権の問題をクリアできれば可能。

【家禽疾病学】（鹿児島大、高瀬先生より）

- ・家禽疾病学テキストについては ” 「獣医学会家禽疾病分科会」 および 「鶏病研究会」 と相談しながら検討中” というのでお願いします。歩調がそろえられずにすみませんが、よろしくをお願いします。（高瀬）

【寄生虫病学】（宮崎大・野中成晃先生より）

- ・寄生虫学の共通テキストは、コアカリ委員だけで対応することは無理と判断し、日本獣医寄生虫学会（寄生虫分科会）に委ねました。現在は学会の教育委員会（委員長は北大・片倉先生）で検討しており、9月の獣医学会の理事会、総会で承認を得た後、具体的な作業（執筆者や出版社の選定）に入っていくことになると思います。

【獣医公衆衛生学関連の科目】（公衆衛生学分科会長：日大、丸山総一先生より）

- ・獣医公衆衛生学教育研修協議会が中心となって編集を進める。11月15日（火）に出版社を交えて検討会を開催し、具体的な編集者、執筆者、タイムスケジュールなどを話し合う予定。杉山先生を中心とする。

【野生動物学】（北大・坪田敏男先生より）

- ・ご存知の通り、「野生動物学」は既に持ち上がっているテキスト作りとの調整で難航していましたが、ようやく結論を得ました。今回の獣医学共通テキストは別途刊行することにしました。これから「日本野生動物医学会」理事会で審議していくこととなります。できたら9月の理事会で本会を主体にした編集委員会を発足させ、執筆者や編集スケジュールを検討していきたいと考えています。以下に、概要を記します。

科目：野生動物学

WGメンバー：○坪田、鈴木、羽山

編集母体：日本野生動物医学会（会長：村田浩一）

スケジュール：

2011年9月（理事会）で本学会として受けることの承諾を得る（予定）

2011年12月（理事会）編集委員会の立ち上げ、内容、執筆者、スケジュール等の審議（予定）

2012～2013年度中に刊行（予定）

出版社：文永堂出版株式会社（担当：松本晶）

【獣医内科学分野】（岩手大・佐藤れえ子先生より）

- ・お忙しい中、お手配下さいまして誠にありがとうございました。このところ出張が続いており、なるべく早く段取りが出来るようにしたいと思います。

【獣医外科学分野】（東大・佐々木伸雄先生より）

- ・臨床系の問題点は、今まで内科、外科といった大きいくりであった部分が臓器別に細分化さ

れた点です。おそらく細分化された各担当者はどのようなコアカリ準拠の教科書にするか、かなり迷っているのではないかと想像されます。

- ・外科関連に関しては、麻酔学、外科学総論、手術学、軟部外科、運動器病の5つに関しては、一応各担当者に連絡し、共同歩調を取るように話し合いをしているところです。しかし、腫瘍学、眼科学、産業動物臨床学、馬臨床学などに関してどのように進めるべきか、悩ましいところです。
- ・また、外科分野は内科学とは異なり、新しい日本の教科書を作っておりません。従って、国家試験を考えると外科学の教科書も必要であり、その抜粋版をコアカリ準拠にすべきか、しかし、そうであった場合、学生はより詳しい内容の書かれた教科書を購入するであろうと予想され、この点も悩ましい点です。現在、朝倉書店とこの点を話し合っております。その結果を見て行動を起こす予定です。

【運動器病学】（鹿児島大学・三角一浩先生より）

- ・運動器に関するテキストの進行状況についてご報告いたします。すでに執筆者の原案を作成し、もう一人の担当者（東大、望月先生）と協議段階にあります。1ヵ月ほど、先方からの返信待ちの状況が続いています。他分野の先生方に進行状況をお聞きしながら、9月中には執筆依頼をお送りしたいと考えていますが、作業を急ぐようにとのご指示でしたら、相方の先生に再度連絡してそのようにいたします。

【眼科学】（大阪府大・長谷川貴史先生より）

- ・眼科学は、現在文永堂とコンタクトをとりまして調整しているところです。ただ、コアカリの見直し作業もなされていますので、その状況も考慮しながら進めているところです。

【臨床繁殖学】（酪農大・片桐成二先生より）

- ・先週の土曜日に開催された北海道大学での講演会に、大澤先生とともに出席してきました。大澤先生には15日にも帯広で松井先生との打ち合わせを行って頂きました。
- ・講演会前日の28日に大澤先生が札幌入りされテキストについての打ち合わせを行いました。29日の講演会での説明を聞いて28日に決めた内容を変更する必要があることが分かりました。橋本先生からのメールの内容については、急ぎ大澤先生および松井先生と相談の上、津曲先生に報告させて頂きます。
- ・先日北大で開催された説明会でやっと全体像の様なものが見えました。なお、臨床繁殖分野の編集担当者ですが、小島先生（鹿児島大学）が松井基純先生（帯広畜産大学）に代わりました。大澤先生と片桐は引き続き担当いたします。この件につきましては獣医繁殖分科会会長の津曲先生にもご了解を頂いております。

以 上